

# 新中央病院建設計画の現状は



園田 浩文

**園田** 建設計画の現状は。

**岩下中央病院事務局長** 8月末で旧阿蘇中学校の解体工事が終了し、検査も完了しております。本体工事の部分については、工期を15ヶ月、16ヶ月予定しており、25年度中には終了したいと考えています。

**園田** 現在の看護師数と開院時の看護師数、ここ数年の退職者数は。

**事務局長** 現在市職員の正看46名、准看4名、嘱託看護師の正看4名、准看4名、臨時の正看1名の合計59名です。開院時には後20名増やす目標でいきますと考えています。退職者数は、22年度から24年度途中ではあります。この間の採用が20名に対し、辞められた方々は12名です。

**園田** 辞職された方々の原因の究明をお願いしたい。続いて新病院の名称については。

**事務局長** 名称につきましては開院までには、推進協議会などと相談しながら決めていきたいと思います。

**防災を考えた地域づくりについて**

**園田** 今回の避難指示は昼間に発令されているが、夜間の場合の対策で、災害時に避難道路を照らす「防災灯」の設置を検討願いたい。

**佐藤市長** 財源等の問題もあり、国庫補助金等の制度を調べた上で、取組めるところは取組んで参りたいと思います。

**市内小中学校の様子は**

**園田** 23年度県内のいじめの認知件数が6832件で、内訳は小学校4887件、中学校1487件、高校425件、特別支援学校31件ですが、阿蘇市の現況は。

**阿南教育長** 何件かの報告は受けています。小学校では仲間外れなど、中学校では暴力的なものも数件あつてます。



新病院建設予定地

# 北部豪雨災害の復旧、復興対策と阿蘇市総合計画（後期基本計画）について



阿南 誠蔵

**阿南** 阿蘇市発足当初、多額の借金財政での船出でした。職員の削減や無駄な支出を抑え、近年やっと市民の負託に応えるべく事業に取り組み、自治体として責務を果たし始めた矢先に、今回の大災害にみまわれました。今後、復旧、復興と総合計画をどのように進められるか伺います。

**渡辺総務部長** 災害復旧事業は最も優先する事業です。阿蘇市総合計画も市の根幹となる計画です。財政調整基金、合併特例債、経常経費等をよく把握しながら、並行して実施していく必要があります。

**佐藤総務課長** これからの後期計画は、今回の災害が広範囲であり、今までのコミュニケーションとは大きく変化すると思います。市民のニーズを受けながら実効性のある、且つ将来に亘って希望の持てる阿蘇市を築くためにも後期計画を良く参考にしていきたいと思います。

市長は二期満了を来年3月で迎えられるが今後の市政への取組について

**阿南** 早期の災害復旧、復興または基本計画は、市の将来の発展に大きく左右するものでありますが、市長は今後の市政への取組を如何に考えておられるか。

**佐藤市長** 来年が任期満了ですが、私もこの阿蘇に生まれ、阿蘇で育ち、そして今阿蘇で生きている人間の一者として、これからは職責を全うし、未来に繋げる阿蘇市を皆さんと一緒に創り上げて行きたい。その決意であります。



答弁する市長

# 阿蘇豪雨災害について



阿南 善範

**阿南** 7月12日当日は夜半からの雷雨で早朝には土砂災害が発生した。降雨量の時間推移と情報の発信経緯を確認する。

**佐藤総務課長** 午前0時30分に熊本地方気象台から阿蘇市に大雨洪水警報が発令されその後2時40分に土砂災害情報と同時に洪水情報が出され、ただちに防災無線により放送を行いました。時間雨量106mm6時間雨量460mmの雨量から内牧地区には避難指示その他の所には避難勧告を行いました。

**阿南** 旧阿蘇町の災害年表によると、阿蘇地方には火山噴火・地震・水害・大風・干ばつ・疫病・火事等の災害が潜在しており、対応が必要である。今回の災害では河川流域の立木が流され、橋に留り氾濫した所が多かった。岸から立木が流入しない様、間伐などを進めなければならぬと思うが。

## 本山農政課長

災害に強い山林を

作る為に間伐を推進するとともに、岸部には広葉樹などを植え、崩壊を防ぐ方法など、今後関係機関と専門的意見を聞きながら進めてまいります。

**阿南** 道路や橋の破損箇所が多く見られるが復旧の方法は。

**伊藤建設課長** 道路や橋の復旧は、国の災害査定が全て終了後、復旧を進めてまいります。

**阿南** 被災された方々の住宅移転先などはどうなっているか。

**井野企画振興課長** 防災集団移転促進事業で対応するという方法もあります。移転等について個別の相談はあっていますが、集団移転については、未だ相談はあっておりません。

他に「ジオパークについて」の質問がありました。



河川崩壊の現場

# 県道、内牧く坂梨線のバイパス化が急務（7・12災害）



藏原 博敏

**藏原** 県道の三閑、北坂梨間の避難道路としてのバイパス化について質問する。この路線については官民あげて要望活動が続けてきた結果、三閑地区での用地買収が決まった矢先に大惨事が発生した。多くの人命を失い、山腹崩壊、土石流災害に至っては目を覆うものがある。この際、小規模な改修ではなく、三閑から北坂梨までを一括した避難道路、生活道路としての建設、改修を求めたいが、県との協議はあっているのか。

**渡辺総務部長** 今回の災害を参考に避難道として整備したいという事は県との調整会議の中で説明があり、三閑地区を皮切りに北坂梨、豆札までのバイパス化が図面上でも示され、将来的には市の幹線道路との接続も考えていければと思っております。

**藏原** 災害直後の現場では、「あの雷、豪雨の中で狭い道路では逃げるに逃げられず、そうする内、土石流、山腹崩壊が起こり、適切な避難が出

来ず路頭に迷った。」といった声が沢山あった。他の被災地に比べ、復旧作業が遅れた原因も道路の不備にあると思うが市長の見解は。

**佐藤市長** 現在、県、市の担当と工事の進め方について協議を重ねております。復旧復興については総合的プランを基にスピード感を持って取り組んでいきたいと思っております。

**藏原** 外輪山全域に防護壁を造るとか、危険地域の住居の集団移転といった事は不可能に近い。災害予測時、発生時にはまず逃げて頂き、命と安全を守って頂く事が現実的であり、直近の有効手段だが、そのためには県道のバイパス整備は不可欠な課題だと思いが。

**市長** 住民の意見を吸い上げ、安全な地域づくりに努めていきたいと思っております。



古城地区の狭い県道

# 阿蘇市豪雨災害復旧対策について



市原 新

の公共施設関係が7億円、道路・河川等公共土木関係が20億円、農政関係が244億円、商工観光関係が37億円であります。

**市原** 今回の豪雨災害で発生した瓦礫・土砂・流木等の堆積物の量・処分方法は、

**建設課長** 建設課所管分の都市災害復旧工事、廃土事業分は北中跡地・岩本畜産跡地・畜協跡地3ヶ所で、集積分は約65,000㎡であります。処分は、その地に押し広げて整地する方法を考えています。

**橋本市民環境課長** 処分場で処理される廃棄物は（流木を除き）計量伝票によりますと15,360tで、概に処理されています。

**市原** 河川・道路関係の災害状況は、**伊藤建設課長** 主なものとしましては河川災害復旧工事が56本、道路災害復旧工事が57本、橋梁が4本、計117本の災害が報告されています。**市原** 住民生活に直接関係があるので、早急に復旧工事に取り組んで戴きたい。又、復旧工事に当っては、災害に強い、住民が安心して安全に暮らせる街づくりをしてもらいたい。今回の災害で、国道57号線、国道265号線が山腹崩壊によって通行止めとなり、波野地区は阿蘇市でありながら、陸の孤島化した事を強く感じた。是非、波野く宮地間を地下トンネルで考えていただきたい。被害総額は、合計251億円になるが、その算出基礎は、



畜協跡地

**佐藤総務課長**

市長の諸般の報告では251億円でありましたが、農政課関係の被害額が増加し、概算の被害総額は約308億円となります。健康福祉課の子育て支援センター等

# 「いじめ」の現状と対策



森元 秀一

**森元** 市における「いじめ」の実態は、

**阿南教育長** 昨年11月の聞き取り調査では今の学年でのいじめは、小学生250人、中学生25人。今も続いていると答えた児童は、小学生45人、中学生8人でした。1月中には大体解決したとの報告です。

**森元** いじめによる、自殺未遂はなかったか。

**教育長** 少し悪質ないじめは、小学生1人中学生1人ありましたが、自殺未遂はありません。

**森元** 「いじめ」の発見の仕方、対策はどのように考えられているか。

**教育長** 相談体制の充実、特に一の宮中学校では、スクールカウンセラーを設置しています。本人からの訴えをしやすいよう、相談が出来る体制を取るようになっていきます。地域・保護者と一緒になって、阿蘇市からいじめがなくなるよう取組んでいきます。

**安心・安全防災対策**

**森元** 今後の防災減災対策は、非常食備蓄の考えは、

**佐藤総務課長** 減災対策として、治山砂防、河川改修、ハード面事業の部分、それと自主避難とか、地域での助け合い、早めの避難というソフト面の二つの取り組みで被害を少なくしたいと考えています。非常用備蓄に関しては、国土交通省関係の事業におきまして阿蘇市内の57号線の拠点に、防災備蓄倉庫なるものを計画している所です。阿蘇市においても積極的に取り組んで行きたい。

他に、「ハザードマップの見直しについて」「自主避難場所の再点検を」「コンビニにおける証明書などの交付について」の質問がありました。

**STOP いじめ**

